

健康相談室を常設し、多彩に、 きめ細かく社員の健康を支える

JOHNAN 株式会社



「新緑ウォーキング」の様子。毎年5月、身体を動かすきっかけづくりとして、京都市内を散策する。家族の参加も促進し、職場のコミュニケーションづくりの場にもなっている。

JOHNAN株式会社は、1962（昭和37）年に京都府宇治市で創業。大手メーカーの受託製造を通じて培ってきた技術と信頼をもとに発展してきた。現在は「革新的なものづくりサービスを提供し、あなたの想いを製品にして、社会に実装する」というビジョンを掲げて活動している。

昔ながらの職人技が求められる分野から最先端分野まで、幅広い技術を有する同社では、電子部品・機器やフィルム加工、自動省力化機器の開発・試作・製造などの事業向け製品とサービスを提供し、その分野は半導体、通信機器、自動車、船舶、医療機器、航空宇宙など多岐にわたる。

同社では「社員の心身の健康を向上させることは企業の普遍的な取組である」という認識のもと、2005年に「健康相談室」を社内に開設した。以来、多様な活動を通して社員の健康増進に注力している。その結果、2014年に京都府の「きょうと健康づくり実践企業認証制度」の認証を受け、2016年には「第3回きょうと健康づくり実践企業」の最優秀賞を受賞。2017年2月、経済産業省が顕彰する「健康経営優良法人2017（ホワイト500）」の認定を受けた。

「健康経営方針」を軸に多彩な取組を実践

同社の健康経営の取組は、2005年に当時の経営者（前社長）が社員の健康づくりに取り組むことの重要性を表明したところから本格化した。また、同時に「健康相談室」（当時の名称は「心の相談室」）を開設し、精神保健福祉士こいでたかしの小出隆さんを同室の室長に迎えて、取組を推進する体制を整えた。

2010年に就任した現社長も社員の健康を大切にする姿勢を受け継ぎ、現在では以下の「健康経営方針」を軸に、様々な取組を実施している。

「JOHNANグループ健康経営方針」

- ◆健康診断やメンタルヘルスチェックの受診を徹底し、協会けんぽや産業医等から支援をうけて、自分自身の心身の健康状態を適切に管理向上できるような従業員を育成します。
- ◆職場における上司や同僚が、従業員の健康に対して配慮できるよう職場環境を整え、継続的に向上させます。

◆毎年の事業計画において、健康経営における主要指標を設定し、その指標における目標の達成に必要な行動計画を立て、全社一丸となって、励ましながら実行し、振り返りを行います。

特定保健指導を徹底して 予防・改善を図る

具体的な健康づくりプランとして「からだの健康づくり・こころの健康づくり・快適な職場環境づくり」の3本柱を安全衛生委員会で作案し、総務人事部、健康相談室、産業医が連携して活動している。

具体的な取組の内容は、始業前のラジオ体操をはじめ、健康診断結果における有所見者がいた場合の再検査・精密検査の受診奨励（メールにて通知）や、ハイリスク有所見者がいた場合の産業医による面談を行うことや、従業員の禁煙を支援するため、「世界禁煙デー」には朝礼でミニ禁煙講習を開き、さらに「禁煙パネル」を掲示して意識の向上を図っている。また、運動不足解消のきっかけとなるよう、京都市内を散策する「新緑ウォーキング」といったイベントも催し、従業員の健康づくりを後押ししている。

現在、特に力を入れているのは、特定保健指導の徹底だ。定期健康診断の結果をもとに毎年1月中の2日間、協会けんぽの保健指導者を招き、該当者がいた場合には一人ひとりに特定保健指導と生活習慣改善の指導を行う。面談日時は総務部が該当者と上司の了解を得た上で設定することで、勤務時間内に実施できるため、指導を受けやすい環境となっている。

入社後は全員が健康相談室で面談

各職場で社員の健康に対する配慮ができるようにラインケアを重視し、管理監督者への研修にも力を入れている。加えて、管理監督者は産業医の面談を年1回受けることとしている。

また、健康相談室の開設当初、利用者は非常に少なかったようだ。その理由として小出さんは「静かな場所が良いかと考え廊下の一番奥の部屋を心の相談室

にしていたのですが、かえって敬遠されてしまったようです。しかし、社員の健康づくりは全社的な取組ですので、その時に従業員の声を聞き、利用しやすい環境にするべきと考えました。2008年には部屋の場所を食堂の近くに移動し、名称も変えました。以来、いろいろな取組の積み重ねの末、社員の健康に対する意識が変わり、現在は『相談することは良いことだ』という雰囲気が社内に広まり、多くの方々に利用されています」と話す。

「誰でも気軽に相談できる健康相談室」であることを目指して、小出さんは社員とコミュニケーションを取ることにも大切にしている。新卒・中途入社社員全員と、入社2か月以内に一人ひとりと面談し、相談室の利用の仕方を説明するとともに「ストレスや不調を感じたら気軽に相談に来てほしい」と伝える。また、本社以外の事業所の社員とは、WEB会議システムを利用して面談をする。

同社戦略企画課の田淵浩子^{たぶちひろこ}さんは入社後の面談について「広報担当が私一人で、やるのがたくさんある上、当時は気が張っていたので、いっぱいいっぱいになっていた時でした。その日も忙しかつたのですが、健康相談室で小出さんと話をしているうちに気分が落ちついていったことを覚えています。守秘義務が保たれていて心のよりどころとなる場所が社内にあるのはありがたいこと。入社後に全員が一度相談室に行くことも、良い取組だと思います」と話してくれた。

小出さんとともに同社の健康経営の取組を推進している総務人事部総務課参与の澤田俊哉^{さわたとしや}さんは、「当社の事業は多岐にわたり、各職場で働く社員の生活環境等もそれぞれ違うため、今後も工夫を重ね、一人ひとりを柔軟に支えることができる仕組みづくりをしていきたい」と力強く語った。

会社概要

JOHNAN 株式会社

事業内容：電子部品・機器、フィルム加工の開発・試作・製造等

設立：1968年（創業：1962年）

従業員：861人（2019年4月現在）

所在地：京都府宇治市